

平成30年度事業報告書

はじめに

平成30年度は、6月に震度6弱を記録した大阪府北部地震をはじめ、7月からは、相次ぐ台風の発生、東日本・西日本を襲った記録的な猛暑、9月には震度7を記録した北海道地震など、まさに自然災害の脅威にさらされた1年になりました。

公益社団法人として7年目を迎えた当センターも、地域社会から信頼されるセンターを目指し、会員・役職員が一体となり事業の推進・会員拡大・安全就業の徹底に向けて努めてまいりました。

事業概況においては、正会員数が465名で7名（1.5%）の減、受託事業配分金が、1億6,334万円で1,315万円（7.5%）の減、派遣事業収益が32万円で12万円（58.9%）の増、新総合事業においては、51万円で25万円（32%）の減でありました。

次に基本方針に基づく実施事項について、報告いたします。

1. 会員拡大活動の推進

「シルバーぬまた」を発行し全世帯に配布、入会案内のポスターの掲示、年12回の入会説明会を通して会員確保と拡大に努めてきました。

2. 就業開拓提供事業の推進

家庭・企業・公共等を訪問し、受注機会の拡大に努め、会員の就業の場を確保するとともに、発注者との信頼関係を深めるよう努めてきました。

3. 安全適正就業事業の推進

安全就業に関しては、器具の点検・交換や現場の巡回指導を通して会員の安全意識の向上を図り、会員が安心・安全に就業できるよう努めてきました。

適正就業に関しては「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」に沿った事業運営に努めてきました。

4. 高齢者活用現役世代サポート事業の推進

会員拡大に向けてシルバーセンターの周知を図り、シルバー派遣事業の拡大に向け事業の推進に努めてきました。